

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 398

所管部局	農林商工部	所管課	農政課	担当者名	山口 美香
事業名	ふるさと共援活動支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	ふるさと共援活動支援事業			政策体系	231
会計	一般会計	科目	6.農林 - 1.農業 - 3.農業		

## 1. 事業の概要

過疎化・高齢化の進んだ農村地域と大学等の地域外協力者で構成する「ふるさと共援組織」の活動を支援する。

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

過疎化高齢化の進む農村地域において外部からの調査・支援等により資源を活かした取組を進める。

### ②事業を実施する必要性

外部（大学）との連携により地元の活性化をはかり農村地域資源の活用を支援するため。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円			1,000	1,300	600	300	0
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			0	480	0	0	0
	国・府支出金	千円			0	650	300	150	0
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			1,000	170	300	150	0
職員等の従事人員		人/年	—	—	0.20	0.40			
人件費		千円	—	—	1,577	2,492			
事業費総額		千円	—	—	2,577	3,792			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

・百日紅の里福居(美山町福居地区)佛教大学と連携協定締結 2年目 300,000円  
 ・元気ねっと！五ヶ荘(日吉町四ツ谷・佐々江地区)立命館大学と連携協定締結 1年目 1,000,000円

## 5. 事業結果の概要

過疎化のすすんだ農村集落と地域外協力者（大学）で構成する「ふるさと共援組織」において、集落の再生を図るため計画づくり等を行った。  
 美山町福居地区百日紅の里 福居（佛教大学）2年目  
 日吉町四ツ谷・佐々江地区元気ねっと！五ヶ荘（立命館大学）1年目

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
<b>(1) 百日紅の里 福居</b>		
過疎化・高齢化の進んだ福居と地域外の協力者（佛教大学）で構成する「ふるさと共援組織」を立上げ、集落の話し合いや計画づくりを実施し、地域資源を活かした共同活動を具体化するなど、過疎化・高齢化の進んだ集落の再生を図る。	4月1日～3月31日	ふるさと共援活動支援事業補助金 事業費300千円(府費150千円 市費150千円)
<b>(2) 元気ねっと！五ヶ荘</b>		
過疎化・高齢化の進んだ福居と地域外の協力者（立命館大学）で構成する「ふるさと共援組織」を立上げ、集落の話し合いや計画づくりを実施し、地域資源を活かした共同活動を具体化するなど、過疎化・高齢化の進んだ集落の再生を図る。	7月1日～3月31日	ふるさと共援活動支援事業補助金 事業費1,000千円(府費500千円 市費500千円)

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

高齢化の進展が著しい集落又は地域が、大学等との連携協定によるプランづくりを通じて地域の活性化を図ることから引き続き事業展開を図っていく。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
限界集落の暮らしの分析、地域リーダーの発掘が重要である
- ②当該事業のアピール事項  
高齢化した地域対策として評価する
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
元気づくりのためには、きめ細かい話し合いの場づくりが重要である